(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3198736号
(U3198736)
(45)発行日　平成27年7月23日(2015.7.23)　(24)登録日　平成27年7月1日(2015.7.1)

(51)Int.Cl.　　F I
B65D 1/02 (2006.01)　　B65D 1/02 221
B65D 23/00 (2006.01)　　B65D 23/00 H

評価書の請求 未請求　請求項の数 2　書面　（全 5 頁）

(21)出願番号　実願2015-1134(U2015-1134)
(22)出願日　平成27年2月24日(2015.2.24)

(73)実用新案権者　515067859
大内　誉史
東京都新宿区住吉町４－１４－７０３
(72)考案者　大内　誉史
東京都新宿区住吉町４－１４－７０３

（特許庁注：以下のものは登録商標）
１．ＱＲコード

(54)【考案の名称】平型ペットボトル

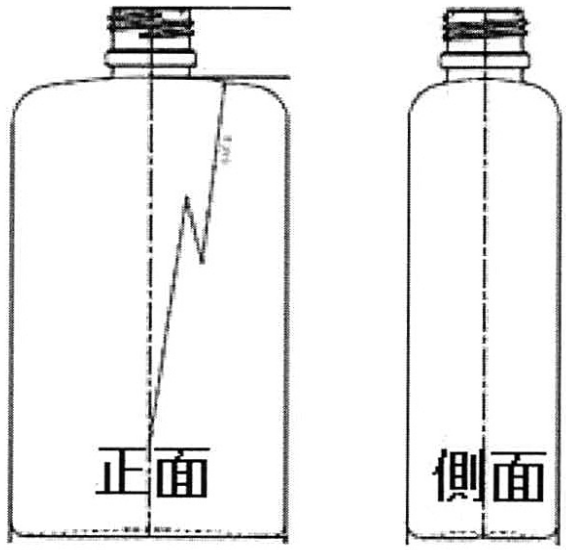
(57)【要約】　（修正有）
【課題】平型ポケットサイズのペットボトルで平型ペットボトルによってポケットに入る利便性と携帯性を提供する。
【解決手段】平型な形状であって、また、ポケットに入れることを可能とし、歩行する際にもポケットに入れて両手が自由になる。これにより、歩行時の安全向上に役立ちます。
【選択図】図８



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
平型形状ペットボトル　ポケットサイズ
平型の為、ポケットに入り両手が自由になりイベントやフェスティバル
その他展示会なので利便性が生じ、尚且つ携帯性を高めたペットボトル
【請求項２】
平型ペットボトルに飲料水を入れてラベルをオリジナルで制作できる
平型ペットボトルの為、２面に大きな広告枠を確保できます。
広告を掲載してＳＮＳなどソーシャルでの情報拡散に効果があります。
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
本考案は平型のペットボトル
利便性に優れ尚且つ携帯性を持った平型ペットボトルに関するものである
【背景技術】
従来の飲料ペットボトルは正方形もしくは丸型が多く、持ち歩くには手に持つもしくは、
カバンの中に入れることしかできませんでした。
オリジナルペットボトルを制作してもあまりロゴの露出もしくはプロモーションしたい内
容がうまく露出しない。
【考案の概要】
【考案が解決しようとする課題】
従来の飲料ペットボトルは正方形もしくは丸型の為ポケットに入りにくい
【課題を解決するための手段】
ペットボトルを極限まで平型にします。
キャップ幅に近い厚さにすることにより、薄型ペットボトルにする
【考案の効果】
ポケットに入ることができ携帯性、利便性を高めることができます。
２面ラベル枠が大きく平面で確保でき、ブランドのロゴ露出を高める。
【図面の簡単な説明】
【図１】展開図
【図２】ジャケットのポケット
【図３】トレーナーのポケット
【図４】パンツのポケット
【図５】カバンの中に入れてもかさ張らない
【図６】ウィンドブレーカーのポケット
【図７】ＱＲコードを張り付け動画配信ツール
【図８】ポケットに入れたイメージ
【実施例】

【野外フェスティバル】
野外でのフェスティバルで手に持って歩行するのではなく
ポケットに入れて歩行すると安全である。
もちろん、作業スタッフも作業しながら水分補給。
【コンサート会場】
平面ペットボトルに席マップやトイレの場所情報や位置情報を掲載
飲料水とパンフレットが連動し便利。
【展示会】
平型なので２面大きな広告スペースを確保
ＰＲしたい情報をより大きく拡散できる

【図１】



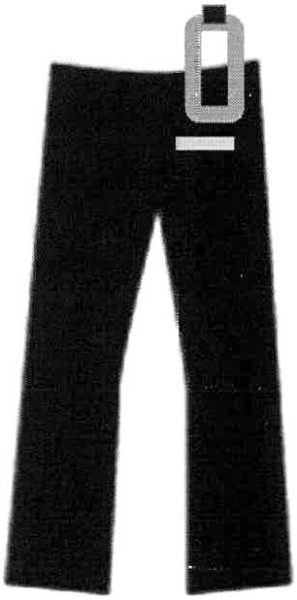
【図２】



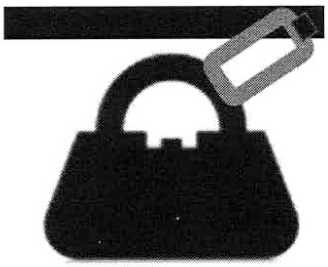
【図３】



【図４】



【図５】



【図６】



【図７】



【図８】



【手続補正書】
【提出日】平成27年4月27日(2015.4.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
平型の形状を特徴とする平型ペットボトル。
【請求項２】
平形の形状を有することによりポケットにいれることを可能とし、携帯性、利便性、歩行時の安全性などを特徴とする請求項１項記載の平型ペットボトル。